尼崎市都市緑化植物園

2016年12月1日発行
公益財団法人　尼崎緑化公園協会
URL://www.amaryoku.or.jp/

緑の相談所だより

12 1
No,365

ナンテン　学名：*Nandina domestica*
中国、アジア、日本では中部以南の山林に自生する。初夏に白い花が咲く。名前は中国の漢名「南天燭」を略したことから由来。
属名のNandina（ナンディナ）は、和名の「ナンテン」から付けられた。難を転ずる縁起の良い植物として、庭木によく植えられている。

amaryoku flower and green news

インドアグリーンで 世界の旅

寒い季節はあたたかいお部屋の中で、植物を楽しみませんか。見慣れた植物も、そのふるさとに思いを巡らせばちょっとした旅の気分です。密林のジャングル、荒野の砂漠、赤道直下の島々など、エキゾチックな世界が広がります。

（サボテン・多肉植物・塊根植物）

アメリカ大陸のサボテンや世界各地の多肉植物の多くは、砂漠や半砂漠地など雨の少ない乾燥地に生きています。そのため葉を厚くしたり、幹や茎を太くしたり、根を多肉化させるなどして、水を貯めることのできる姿に変化したといわれています。その多種多様でユニークな姿を室内で眺めるのもいいですね。ひとつひとつが小ぶりなものも多く、成長もゆっくりなので小さなスペースで楽しむ事ができます。

（鉢花）

室内に鉢花をプラスすると彩りと季節感が加わります。今の時期ですと、ポインセチアや、クリスマスカクタスなど、窓辺に置いて楽しまれてはいかがでしょうか。ポインセチアはクリスマスの定番の植物ですが、もともとはメキシコの高原に自生する低木です。自生地では３～５ｍまで育つそうです。

※適潤地とは適度に湿り気を含んだ土地のことをいう。降雨が年中断続的にあり、カラカラには乾かない場所をいう。（尼崎の平野部は適潤地。）

（観葉植物）

私たちが観葉植物として親しんでいる植物の多くは「熱帯」「亜熱帯」地域のものです。熱帯雨林のうっそうとした暗い木々の下で生きる植物、例えばセイヨウタマシダやアジアンタムなどは、日当たりがあまりよくない室内にも適応し育てることができます。また、樹上に着生するアナナスやカトレアなどの着生植物は、室内に土を入れたくないという方におすすめです。水苔やヘゴなどを使い育てることができます。

日本で観葉植物といえば、園芸文化が花開いた江戸時代にオモトやイワヒバなど、葉を観賞する古典観葉物がブームとなり、斑入り葉などが珍重されたそうです。ヨーロッパで作られた観葉植物が入ってきたのは、明治時代だといわれています。異国情緒漂う植物は貴重な存在でしたが、今ではすっかり私たちの暮らしの中で、身近な存在になりました。観葉植物の原産地などを調べて、その環境を想像し育ててみるのも楽しいですよ。

室内園芸を楽しもう　自生地環境を配慮して

園芸研究家　能勢健吉

ベゴニアの自生地

室内で植物を楽しむために気を付けたい点を幾つかご紹介します。植物は栽培されていてもふるさとの環境で育まれた性質をしっかりと残しています。どんなところ(気候や生育場所)からやってきたのかを知ればうまく育てることが出来ます。

①栽培環境　－温度－

植物種ごとに生育適温があり、この範囲から外れ、高すぎたり低すぎたりすると枯れてしまいます。特に室内で観葉植物を育てていると、低温で枯らす事があります。植物種ごとの耐寒温度を知ることが必要です。温室栽培では以前から、温度別に低温温室(最低温度４℃。植物が凍らない。)、中温温室(最低温度10℃～15℃。熱帯・亜熱帯植物が傷まずに生育が停止する程度。)、高温温室(最低温度15℃～20℃。ほとんどの植物が生育する。)と経験的に分けられています。一戸の住宅内でも、暖房の有無や立地により温度が様々ですので、その場所に適した植物を配置しましょう。

◎低温の部屋(縁側や無加温の部屋)では
温暖帯～亜熱帯原産植物　コンテリクラマゴケ、セイヨウキズタ、ナンヨウスギ、シンビジューム、インドゴムノキ、ガジュマル、ブーゲンビレア、ハートカズラ、フィロデンドロン・セローム、コルディリネ・アイチアカなど

◎中温の部屋(暖房が入る部屋)では
亜熱帯原産植物、熱帯高山植物　ビカクシダ、アレカヤシ、トラフアナナス、シマサンゴアナナス、コマドカズラ、ポトス、カラテア類、セントポーリア、中・大型カトレア、コチョウラン・(生育は停止)、斑入りインドゴムノキ、カシワバゴムノキ、コーヒーの木、ペペロミアなど

◎高温の部屋(気密性が高く、常に暖房が入った部屋)では
熱帯原産植物　コチョウラン、ウツボカズラなど

②栽培環境　－光－

植物は、光エネルギーを取り込み植物体内に澱粉等の有機化合物の形で蓄えます。この過程が光合成です。さらにエネルギーを必要に応じて取り出し、生存しています。太陽光や屋内の植物栽培で注目の人工照明など、ともかく光が必要です。

ひなた（ガラス越しに数時間は太陽光があたる窓辺）
マーガレットや多肉植物のカランコエ、花月(金の成る木)、エケベリアやセダムなど日照を好む陽性植物。

レースのカーテン越し（カーテンで遮光した太陽光があたる窓辺）
クンシラン、セントポーリア、コチョウラン、ミニカトレア類、オモト、レックスベゴニアなど半日蔭が適する植物。

日陰（直接、日光が当たらなくても反射光で生育する植物）
スパティフィラム、ボストンタマシダ、アジアンタム、ハラン、多肉植物のハオルティアなど陰性植物。

窓辺の植物たち

③栽培環境　－水分－

自生地によって雨の多い地域、季節によって雨が降る、降らないなどの変化のある地域、年中雨があまり降らない地域など植物の種類が大きく変わってきます。年間降雨量や季節変化などある程度知っておくと植物の栽培のコツがつかめます。

＊水辺や多雨地域原産植物、アジアンタムなど　→　潅水を常に行い水を切れさせない。
＊適潤地域原産、ボストンタマシダ、アスプレニウム、ゴムノキ、ホンコンカポック、ポトス、スパティフィラム、カンノンチク、シュロチク　→　培養土が乾燥気味になると適宜灌水する。
＊雨季・乾季など季節性降雨がある地域原産植物、アマリリス、シクラメンなど　→　休眠期には灌水を控える。
＊砂漠など乾燥地域原産植物、エケベリア、セダム、ハオルティア　→　灌水(量や回数)は少なく。

植物に関するご相談は 緑の相談所 まで　☎ ０６－６４２６－７５００　【時間】10：00～12：00　13：00～16：00

温室図鑑

File No,11

熱帯花木

メガスケパスマ・エリトロクラミス

Megaskepasma erythrochlamys
（キツネノマゴ科）

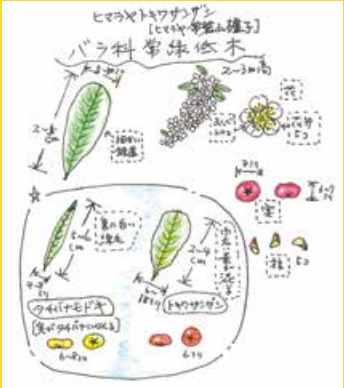
ベネズエラ原産の高さ約2㍍になる常緑低木で、この植物は1属1種になります。この時期、茎の先端にピンク色がかった花のようなものがいくつかつきます。これは花ではなく苞もしくは苞葉とよばれ、蕾を包み保護していた葉にあたります。本当の花は白色で3枚の苞の内側にあります。花が終わった後もピンク色の苞が残るので長期間それを楽しむことができます。葉は対生し、長さ30㌢と比較的大きいです。温度と日照があれば栽培は容易ですが、風通しが悪いとカイガラムシが発生します。当園温室では例年12月～3月頃が見頃です。（田上）

上坂部西公園 見頃予報

ピラカンサ

バラ科　　常緑低木

花も実も美しく、庭木や生垣にされる。ヒマラヤトキワサンザシ、トキワサンザシ、タチバナモドキをまとめて「ピラカンサ」とよぶことが多い。



イラスト：グリーンヘルパー山道さん

12月

ヒマラヤザクラ
ジュウガツザクラ
ツワブキ、
ドウダンツツジ(紅葉)、
ピラカンサ(実)
ナナミノキ(実)
サザンカetc…

1月

カンザキアヤメ、
ウメ、ロウバイ、
マンサク、ビワ
etc…

生きもの調査隊リポート

10月に上坂部西公園を流れる昆陽川にどんな生き物がいるか調査をしました。川を覗くとアメンボやメダカの姿がたくさん見られます！気合い十分で田上隊長とグリーンヘルパーの５名が川へ入ります。おっと、水に入るやいなや隊長の長靴に穴が…
早々の離脱です。残されたメンバーで網を振って生きものを探します。隊員から「ウナギっ」という声が！えっ尼崎産ウナギ！？喜びも束の間、ドジョウと判明。気を取り直して１時間ほど調査を続けました。結果は

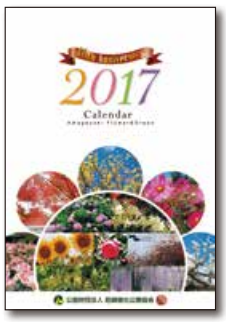
ミナミメダカ多数、
カダヤシ(メダカに似た特定外来種)多数、
ギンブナ４匹、ドンコ４匹、ドジョウ５匹、タモロコ２匹、
ヌマエビの仲間多数、アメリカザリガニ(外来種)多数、
シオカラトンボもしくはオオシオカラトンボのヤゴ多数、
ギンヤンマのヤゴ１匹、タイワンシジミ(外来種)１匹、
ヒメタニシ１匹、サカマキガイ１匹、モノアラガイ２匹、

この日見つかったのは以上ですが、もっと様々な生きものがいるはずです。心配なのは特定外来種に指定されているカダヤシの存在です。もともとはアメリカ東南部に生息する魚ですが、カダヤシ(蚊絶やし)という名の通り、ボウフラをよく食べるので、1970年ごろからボウフラ駆除の為、日本各地に放流されたそうです。メダカと同じような住みかの為、競合してメダカを駆逐してしまいます。カダヤシを飼うには環境省の許可が必要です。メダカそっくりな姿にみなさん騙されませんように。

花と緑の伝言板

尼崎緑化公園協会 40周年記念

2017年版カレンダー販売のお知らせ



【販　売　期　間】　平成28年12月5日(月)～12月25日(日)
【販　売　価　格】　700円(税込)
【販　売　場　所】　上坂部西公園　緑の相談所
　　中央公園パークセンター(休館日：水木祝)
【お問い合わせ】　０６－６４１１－８７１４

イベント・展示会・講習会のご案内

12月

上坂部西公園　緑の相談所　12月

・2日(金)　ガーデニング体験講座
10:00 ～12:00
講師：協会職員　田上義信
㊙申込・定員20 名・費用無料
お花のおみやげ付き

・11日(日)　皐月盆栽 講習会 13:30 ～15:30
講師：尼崎皐月協会
整形ほか

・17日(土)　親子でクリスマスもお正月も飾れる
ツリーを作ろう！
10:00～12:00
講師：協会職員　川嶋暢子／㊙申込・費用¥500

・17日(土)　小品盆栽 講習会 13:30 ～15:30
講師：尼崎小品盆栽山草会
松柏盆栽の整形

・17日(土)～1月31日(火)
展示会「木や竹でつくる手づくりおもちゃ展」

中央公園　12月

・9日(金)　ガーデニング体験講座 10:00～12:00
講師:：協会職員　宮内和之　/　㊙申込・費用不要

・16日(金)～25日(日)　展示会「菊花展児童写生作品展」

1月

上坂部西公園　緑の相談所　1月

・8日(日)　皐月盆栽 講習会 13:30～15:30
講師：尼崎皐月協会　松本昌信
整形その他

・21日(土)　小品盆栽 講習会 13:30～15:30
講師：尼崎小品盆栽山草会
消毒、松柏盆栽の針金による整形

・28日(土)　植物園ガイド 11:00～11:40
講師：尼崎都市緑化植物園グリーンヘルパー

中央公園　1月

・6日(金)～8日(日)　展示会
「初春を祝うひょうたん展」
変わりひょうたんや
大ひょうたんを展示します。

・27日(金)～30日(月)　展示会「草木染展」
草木染から発展した作品
100点を展示します。

尼崎の森中央緑地 から

尼崎の森中央緑地パークセンター　住所：尼崎市扇町33－4　TEL：06-6412-1900
開館時間：9：00～17：00　休館日：年末年始(12／29～1／3)

◎いつでも体験プログラム(9：00～17：00)
12月　間伐材でサンタづくり
1月　冬の生き物クイズ
(毎日無料で工作や体験ができます。)

◎森づくり定例活動(9：45～12：00)
12月4日(日)、16日(金)、1月20日(金)
森の手入れなど(申込不要)

◎あまがさき森っこ活動日(10：00～11：30)※受付9：45～
12月25日(日)森のクリスマスパーティー
1月22日(日)木の葉でお面づくり

※12月分は申込必要(定員20名　多数の場合は抽選　親子での参加の場合は子ども優先)申込期限12/11 (日)まで
Eメールにて受付(参加者全員の氏名、年齢、連絡先)
アドレス　event_amamori@hyogopark.com
※1月分は申込不要、先着20名　親子での参加の場合は子ども優先

◎尼崎の森中央緑地案内ツアー
毎日実施 13：30～14：15
園内を回って森づくりの説明など
※申込不要　当日受付(団体などの場合は事前にご連絡ください)

※各種詳細は決定次第、webサイト「森のウェブマガジン」http://ama21mag.jp にて

お申込み・お問い合わせ

※有料講習会のキャンセルは1週間前まで。
それ以降は材料の引き取りをお願いします。
※申込の際に持参品の確認をお願いします。

上坂部西公園　緑の相談所・西武庫公園　TEL 06-6426-4022
中央公園パークセンター・元浜緑地　TEL 06-6411-8714

◆ 尼崎市都市緑化植物園　(上坂部西公園)　緑の相談所

〒661-0011 尼崎市東塚口町２－２－１　☎ 06－6426－4022 (fax同)
公園開園時間：4～9月 6:00～21:00　10～3月 6:00～18:00 (年中無休)
温室開館時間：10:00～16:00 (火曜、水曜、年末年始は休館)
緑の相談所開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで) ※年末年始は休館
園芸相談：10:00～12:00　13:00～16:00　☎06－6426－7500

◆ 中央公園パークセンター

〒660-0884 尼崎市神田中通１－４
☎ 06－6411－8714 (fax同)
開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日：水曜、木曜、祝日、年末年始

[編集：発行] 公益財団法人 尼崎緑化公園協会　〒661-0979 尼崎市上坂部２－１－９
TEL：06－6494－9046　FAX：06－6494－9049　URL：http://www.amaryoku.or.jp/

知れば知るほど"あまがすき"
尼崎市市制100周年